

製品名: LOX ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86854**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:50-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:47 kDa; Observed MW:54 kDa

抗原情報

遺伝子名	LOX
別名	AAT10
遺伝子 ID	4015
SwissProt ID	P28300
免疫原	ヒト LOX の合成ペプチド

背景

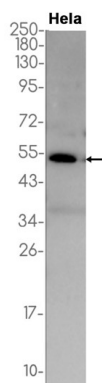
この遺伝子は、リシルオキシダーゼファミリーに属するタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより複数の転写産

物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つはプレプロタンパク質をコードしており、このプレプロタンパク質はタンパク質分解によって制御プロペプチドと成熟酵素を生成します。この酵素の銅依存性アミノキシダーゼ活性は、コラーゲンとエラスチンの架橋に機能し、プロペプチドは腫瘍抑制に関与している可能性があります。さらに、この遺伝子の欠陥は、胸部大動脈瘤および解離の素因と関連付けられています。[RefSeq 提供、2016年7月]

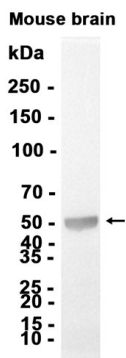
研究分野

-

画像データ



LOX ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86854 を 1:2000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。